



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和42年7月1日現在)

村の人口

出生	3人
死亡	3人
転入	56人
転出	74人
総人口	3,803人
男	2,014人
女	1,789人
世帯数	1,145世帯

村の面積 332.26平方km

今月の目標

夏の事故防止につとめましょう

△夏はとかく気がゆるみがち規則正しい生活をしましょう。

△各地で交通事故や水難事故が続出ております。

△寝不足は失敗のもと睡眠は充分にとりましょう。

和泉村議会第四十五回定例会開かる

六月二十八日午前九時、和泉村議会第四十五回定例会が開かれ、可決議案は、次のとおりである。次いで追加議案として、議会常任委員会構成の変更が行なわれた。

- 一、和泉村税条例の一部改正について。
 - 二、福井県旧町村職員恩給組合資産管理組合を組織する町村の数の減少および、同組合規約の変更について。
 - 三、福井県旧町村職員退職手当組合を組織する町村の数の減少および同組合規約の変更について。
 - 四、工事請負契約の締結について。
 - 五、昭和四十二年度和泉村一般会計補正予算案。
 - 六、昭和四十二年度和泉村簡易水道事業特別会計補正予算案。
 - 七、昭和四十二年度和泉村電源開発関係水没村林道付替事業特別会計補正予算案。
 - 八、失業保険法の改正について。
- 議会常任委員会構成
- 一、総務常任委員会委員
委員長 新井一雄

- 委員 副島 弘
谷口 武雄
田村 重次郎
- 一、産業経済常任委員会委員
委員長 尾崎 彦次郎
委員 藤沢 平一
吉川 基
吉村 外治
- 一、建設常任委員会委員
委員長 三島 利夫
委員 家木 為則
中山 正
加藤 良雄

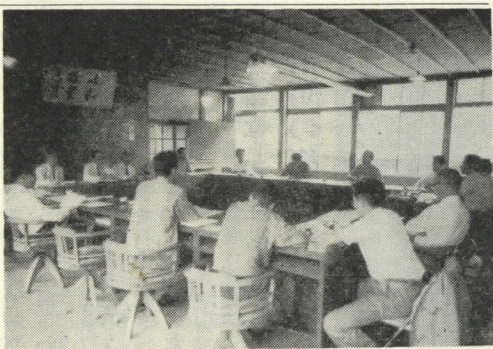
林業横造改善事業

地域指定に

みとおし明るし

昨年より、計画中であった、林業構造改善事業も、漸く本年度調査地区として明るい見とおしがつき先般県林務課長始め係官より施行事業内容の説明があり、本年度中に調査を実施し、四十三年から事業に着手する予定である皆様の希望事業についての調査を行ないますから、よろしくお願ひします。

施行事業種類は左の通りであります



施行事業内容についての説明会

- 一、経営基盤の充実
 - イ、入会林野の近代化事業
 - ロ、分取造林の促進事業
 - ハ、国有林野の活用事業
 - ニ、林地の流動化事業
 - ホ、林地の集団化事業
- 二、生産基盤の整備
 - イ、林道の開設事業
 - ロ、素林生産施設の設置事業
 - ハ、造林施設の設置事業
 - ニ、木炭生産施設の設置事業
 - ホ、樹苗生産施設の設置事業
 - ト、チップ生産施設の設置事業
 - チ、特殊林産物生産施設の設置事業

三、早期育成林業経営の促進事業
なお事業内容については調査のとき説明いたします。

村議の顔

新井一雄

趣味 釣。最近仕事に追われてい
せいか、出掛けることができなくて残
念に思う。以前は自分分年ら気違いじみ
た感じがしなくてもなかつた。而し釣を
楽しむ方には理解いただけれると思う。
釣の気持ちまた格別である。

抱負
一、地域の不便差を無くしたい。
月の世界へ行けるような時代になつ
ても、雪が降らない様には到底出来な
いと思うが、他と我が郷土との格差を
なくするには、何といたって交通網の
整備である。道路の朝日迄の開通は、
あと三カ年、道路の国道舗装は白鳥ま
で四カ年、これを一日でも早く完成出
出るよう最善の努力をするは勿論、朝
日を中心とした、只越トンネルの早期
実現と、石徹百水系の道路整備である
と思う。これの実現により地域の不便
差は少なからず解消するのではなから
うか。尚これを基幹として。

明日からの現金収入を得る画期的な一
大造林事業を推進したい。この資
金は外資（森林開発公社、林業会社）
を導入し、これに関連又は附随する、
苗木、黄蓮、しいたけ、生産等総合収
入年間一億円くらいを確保しつつ、三
〇年後を期待して、年間針葉樹二〇万
石（時下換算七億円）生産出来得る一
大林業立村としたい。これは決して
夢でなく地道に実行すれば必ず出来
る事である。なお郷土の資源である雪
とダム湖、清涼な水を生かしての観光
開発は欠く可からざるものであり、こ
れの活用によって住民への収益の受け
止め方を真剣に考えなければならぬ
その一つに、スキー場開発があり、漁
族を放流しての観光客の誘致等、その
他。悔いのない開発が必要である。以
上を相互連繫のもとに、当村は幸にも
無じん蔵に近いといわれる地下資源に
恵まれているので、この開発に積極的
に協力し、住民夫々の職能別仕事を与
えていく事である。何はともあれ村民
生活の安定が得られることこそ「村造
り」の要諦であると確信している。

希望 現在和泉村はダムの町として
はでな生活がなされているが、これも
今年一杯である。工事のすんだ後は昔
の穴馬の姿に戻り台風一過である。良
い風習は残り難いが、悪い習慣は去り
難い。お互い自己を反省し良く考え、
将来性のある明るい村造りを、どの様
にしたらよいか教えていただくと共に
御協力を賜りたい。

雑感 大都会にあっては、今や公害
と騒音になやまされつつあるが、奥越
和泉は、水は清く空気はうまい。春は
豊富な山の幸、夏は緑でしのぎ良く、
秋は紅葉で冬は豊富な雪、交通網は確
保されたも同然。こんな素晴らしい村に
生れた幸、感ずると共に、お互い仲
良く協力し合せて、悔いのない豊かな
村造りに努力したいと念願する。

○よき妻はよき夫をつくる

和泉村再建の方策審議会答申

⑥

観光開発答申

(村長諮問要旨)

和泉村の観光資源は、山景・ダム湖積雪・温鉱泉等が考えられる。これらに有効に駆使して一大観光地に成長させるには歴大な資本と、当地独自の構想が必要で、これらをどのようにまとめるか基本産業と結びつけた観光開発が出来るか

答申内容

基本方針

当村の観光開発は、広範囲に互ること、および、観光地を「造成」するという形態をとらねばならないこと。などが、一挙に達成することは条件的に許されず、大体日本観光協会の診断報告を利用することとしても、当面の課題と、二〜五カ年計画の課題とに二分して実施した方が妥当と思われる。

このように継続事業としての性格が強い関係から、今後の推進機関として議会内「観光特別委員会」を、事務局に「観光担当職員」をおき、日に日に新らしく変遷する観光事業に常に創意工夫をこらし、この事業の目的達成に對し体制固めをする必要があると考えられる。

開発計画

当面早急に処理すべき諸問題

下山附近

イ 当村の門戸をなすことから、谷山附近を選んでドライブ休憩地として最小限駐車場、休憩ベンチを設ける外、高台にある岡畑道場を

開放し、その周囲を美化して大休憩場に、売店・共同宿泊施設・山菜園等を経営し、荒島岳を望む景勝地とする。

ロ 荒島谷に林道を開発し、兼ねて荒島登山道として道中の「大垂滝」に休憩所・駐車場・亭を設けて産業、観光の両立を画る。

朝日附近

イ 越美北線勝原―朝日間開通に期待して、朝日駅前広場を計画し、該当用地を確保しておく(諸施設は五カ年計画とする)

ロ バイパス道路として、現朝日橋よりの国道を延長し中学校しもの板倉カーブに結ぶ。

川合・朝日地区

イ 現在の前田建設事務所敷地の馬蹄型区域を観光センターとして使用出来るよう用地を確保しておく(完成は五カ年計画)

ロ 民族館内の展示物は、おそくも四二年度から集めておく。(以下来月号)

私の希望

只越トンネルの

早期実現を望む

昭和四十五年には待望の越美北線が朝日まで開通するそうで大変喜ばしいことであります。これは村民が長年待ち望んだ夢であったのですが、それがとうとう実現の

名をとるより徳を取れ

運びとなって感無量であります。この実現に努力された数多くのかたがたに感謝と敬意を捧げたいと思っております。

さてそれと歩調をあわせて現在計画中の只越トンネルの件ですが現在村当局、村民全体で根強い運動をしている段階ですが、村民として何としてもこれは実現させたい大事業です。このトンネルを実現させることはき

わめて大きな意義を持っているだけに重大です。県下唯一の豊富な地下資源を持つ当村が年中常時輸送可能な交通機関を持つことは当村の経済発展につながるのみならず人命尊重という観点から考えましても大変有意義であり、どうしても実現させる必要があるわけ

です。この先どんな困難にぶちあたろうとも村民ぐるみでそれを打ちくさし、これが早期実現できますよう切望いたします。

● 火事なし村にしよう ●
● 消防の皆さん有難う



ポンプ整備の様様 (第2分団)

第二分団の皆さん、深夜の警戒御苦

労さま、春から続いた異状天候、乾燥水不足、木造建物の密集地帯、こんなとき、こんな場所、若し火災が発生したらどうなることか、村中の人達が不安な気持ちでいるとき、軽いエンジンの響きにチリン、チリンと鈴の音を交差させながら、寝静まった深夜の道を消防車は遠ざかっていく。

火災の予防、防犯に住民の財産、生命の保全のため昼間の仕事で疲れた身体に鞭うって、しかも自発的に活動して下さる皆さんの御労苦に対し、私達は合掌しながら感謝の気持ちで、一すした油断から発生する。火災から村を守る

う、火事なし村にしようとして一生懸命に活躍して下さる消防団の皆さんの努力に報いるためにも、一人一人が火気の取扱いに注意して、自分の家は自分の手で守るように心掛けましょう。

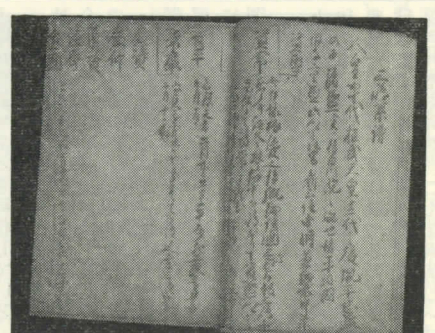
限りない郷土愛に燃えて努力して下さる消防団の皆さん、健康に留意され、おらが村の守りに益々活躍下さることを念じ、感謝の意を表します。

部落だより

伊勢の地名

平重盛の次男新三位中将兼越前守平資盛が子資常が今の伊勢に隠棲世々代を重ねた。資盛が伯州にて十萬石を領し越前の守護職を兼ねていた関係から越前の地理にもくわしく因縁も深かったものとみえ、平家没落後この越前の国へ隠遁土着した者も多いようである。また伊勢の志摩を領していた平家一族を伊勢平氏とい、その伊勢平氏の

貴族三嶋資常の隠居したところを伊勢殿と称して尊崇し、それが伊勢の地名のおこりであるという。



三島家に伝わる古文書

思うに平家没落後、散り／＼に離散した一族のち、この村の山深く隠遁した事実が今に残る平家にまつわる伝説、地名、塚跡などによって証明される。

平氏の流れ資常が僅かの供を従えて伊勢を安住の地と定め、三嶋姓を名乗って定着したことはまことに興味深いものがある。

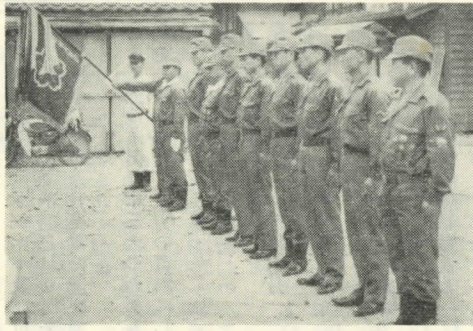
註 本稿は、伊勢の三嶋又右衛門に伝わる系譜及び右文章を参照とした。系譜によると、三嶋又右衛門は新三位中将平資盛の末葉にして代々越前大野郡南山中伊勢に位すとある資盛の子資常(文治二丙午正月二十六日生、八十才にて没)より三十七代目に兄又右衛門(出生は寛文、延宝年間と推察)弟昌代(天和二年生れ)の名が見える。

役場の窓

北陸三県ポンプ 操法大会に 第四分団栄冠を 獲得す

さる七月八日武生市において、七市五か町村のポンプ操法大会が開催された。高志地区八か町村の予選を経て、県大会に和泉村第四分団が代表として出場。日頃の練習を發揮し、団員一致の努力の甲斐あって遂に優勝した。

更に八月八日には、高山県で開催の北陸三県大会に福井県代表として出場の栄冠を得たわけで、分団長以下要員各位の今後の努力に期待をかけている。



第四分団

永久選挙人名簿

登録の申し出は
九月一日までに
永久選挙人名簿登録の申し出は、お

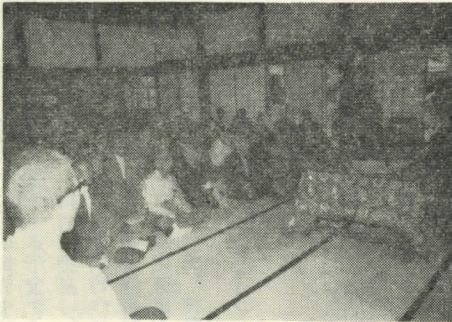
済みになりましたか。次に該当する人でまだ申出の終っていない人は、九月一日までに申し出て下さい。

一、昭和四十二年九月一日現在で、年令満二十才になる人で、引き続き三カ月以上和泉村の区域内に住所を有する。

二、年令満二十才以上で、他の市町村から転入し引き続き三カ月以上和泉村の区域内に住所を有する人は、前住所地の選挙管理委員会発行の、選挙人名簿登録の証明書が、未登録の証明書を添えて、九月一日までに申し出て下さい。

九月一日までに申し出をしていただかないと、昭和四十二年九月三十日確定の選挙人名簿に登録されない場合がありますので、必ず申し出をおこなって下さい。

老人クラブ総会



老人クラブ総会の模様

本村老人クラブ総会が、去る六月二十日午前九時より、朝日道場に於て、八十余名出席して盛大に開催された。

型通り四十一年度決算、四十二年度事業計画の承認、慰安旅行の打合せなどの後に、長谷川高志福祉事務所長、南主事から大変有益なお話があった。午後は、上志比村立勝寺住職の御法話があつて終了したが、皆さん終日熱心で大変楽しそうに見受けられました。今後共益々元気で御活躍を祈ります。

県傷夷軍人会 の一行来る

七月九日、県傷夷軍人会同妻の会の皆さん六百余名が、ロマンスカー、マイクロスズ十二台を連ねて、ダム見学のために来村された。午後一時半に着、直ちに中学校の講堂に入つていただき、助役、議長の歓迎の挨拶についで、電発の桑田、田村両氏の懇切な説明の接待や、五色石を土産にお持ちいただいた。三時から現地見学に出発、電発や役場の職員ガイドに耳を傾けながら、びっくりしたり、また楽しそうであつた。

当日は、あいにくの雨で、バスから降りて見学していただくことができなくて残念であつたが、異郷の風物巨大なダム建設の現場を目のあたりに眺めて感激されている様子が、私共お世話した者にとって大変うれしく感じました。

こうした団体の見学がある度に、いつも親切に御案内下さる電発の御好意を、この機会に深く御礼申し上げます。

検診のお知らせ

住民課

妊産婦、乳幼児、三才児の一斉検診を八月九日診療所に於て行います。こゝによって疾病の予防、健康の保持増



朝日中学校でのダム説明の模様

進に必要な指導助言を与えます。また三才児については、身体發育及び精神發達の両面に於て最も重要な時期であり、この時期に行われる保健措置の如何がその後の成長に重大な影響を及ぼすので、該当者はもれなく受診願いたいものです。

尚八月七日におなじみの「いぶき号」が参りますので、自分のためにも人のためにも、どうか揮って献血していただきたいと思います。下旬には成人病検査を予定しておりますので、ご自分の健康保持のために、是非共多数受診されるよう望んでおります。

職場だより

中龍鉦山郵便局

◎ミニレターを御利用下さい!!

「郵便書簡」の愛称が「ミニレター」と決定しました。これは郵政省が郵便書簡をよりいっそう利用者に親しまれるものとすべく、さる四月二十日から五月三十一日まで広く一般に懸賞募集をしたもので、応募数四九、八〇四点の中から選ばれたものです。このミニレターは、一枚十五円で切

手をはる必要がなく通信文を書いて折りたたみ、封をしてそのままポストへ投入すればそれでよいわけです。またその中には一〇グラムをこえない範囲内で薄い紙片、写真等も入れることができます。旅行などのときには大変便利ですしまた一般家庭におかれましても便箋、封筒などを節約できますので非常に重宝です。ぜひ一度御利用下さい。

一度使ったら絶対「ミニレター」に限りません。ミニレターは安あがりであるあなたの心を暖めてくれます。どうぞ末永く御愛用下さい。

◎任みよい郷土をつくる郵便貯金!!

皆さんからお預りしました郵便貯金は皆さんの町や村、公社、公園、公庫などに貸し出され、住みよい町づくり村づくりには大きな働きをしています。たとえば学校、病院、住宅、道路、橋などがそれで、いわゆる皆さんの尊いお金で住みよい郷土をつくることのできるのです。同時に貯金には利子がつきますので自分の利益にもなり、社会のためになるわけです。

郵便貯金はあなたに希望を与えます社会に貢献します。どうぞてがるな郵便貯金を御利用下さい。

郵便貯金の五大特長!!

- 一、国がお預りしますから(安全)
 - 二、全国どの郵便局でもお気軽にご利用できますから(便利)
 - 三、利子が高いので(有利)
 - 四、財産が誰にも知られません(秘密)
 - 五、税金のご心配がいりません(無税)
- なかでも長くおくほどお得な定期貯金は貯金の王様です。わたしとあなたとの合言葉、郵便局の定額貯金。

常に廻転する車輪はサビを生ぜず

電源工事完成近し

発電と洪水調節をかねた奥越電源開発工事も日毎に進行し、ダム地下発電所、集水並びに導水トンネル及び付替道路工事は併行して予定どおり出来上りつつあり、来年六月発電の運びである。

こゝに当地に出現する六つのダムの概要を「表」にして大方の資料にしませう。

総予算 三五〇億円
着工 昭和四十年四月
発電予定 昭和四十三年六月
付替国道 川合と上半原

派出所だより

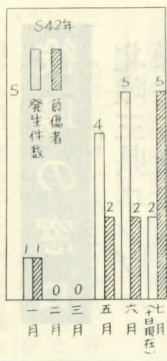
夏に多い交通事故

昨年と今年の統計から

昨年一年間に和泉村で発生した交通事故は全部で二十三件、死者一名、怪我人十四名となっております。

発生した事故の内容を検討してみますと、転落事故が半数以上を占めておりまた時期別に分けた場合七、八、九月の暑い時期が断然多く発生しております。今年もまた暑い時期を迎え、体も疲れやすく気分がゆるみがちとなり、交通事故の発生し易い条件が重なっております、お互い充分気をひき締めて交通事故を防ぎましょう。

なお今年七月十日までに発生した事故の内容は次の通りですが、このうち七件が転落事故によるものです。



地下発電所
位置 橋 延長一六km
トンネル 二二八
搬入路入口より
二四〇m入

移住者
開口 一九m
奥行 六九m
高き 四〇m
旧戸 三七一戸
新戸 一五八戸
非水没 八八戸

長野及び温上発電所概要



長野ダム総貯水量
353,000,000 m³
面積 8.9 km²

内訳	ダム型	ダム					
		長野ダム	鷲ダム	山原ダム	石徹白ダム	智名洞ダム	三面ダム
式	ロックファイル	アーチ重力式	越流型重力式	アーチ重力式	越流型重力式	全	前
高さ	128.00m	44.00	23.00	32.00	13.00	10.00	10.00
長	355.00m	267.00	143.00	113.62	60.00	67.50	67.50
頂	12.00m	4.50	4.00	2.50	2.00	2.00	2.00
標	568.50m	464.00	466.00	575.00	572.00	577.50	577.50
体積	630万m ³	108千m ³	24千m ³	18.9千m ³	4.200m ³	1.760m ³	1.760m ³
貯水量	35.300万m ³	965万m ³					
貯水面積	8.90km ²	620.000m ²					

人のうらみ

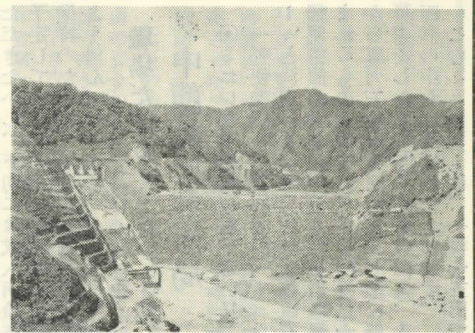
〔出生〕 (六月分)

貝皿 洞口 寛雅 幸夫 長男
中竜 石沢 康之 吉長 二男
大谷 池尾恵美子 清隆 長女

〔婚姻〕

中竜 菊地みゆき 啓一 長女
中竜 加賀 友子 正次郎二女
持穴 大野市五条方 長谷川逸美
犬山市大字木津 後藤礼子
朝日前坂 加藤貞彦
後野 長嶋良子

○失言は放ちたる矢の如し



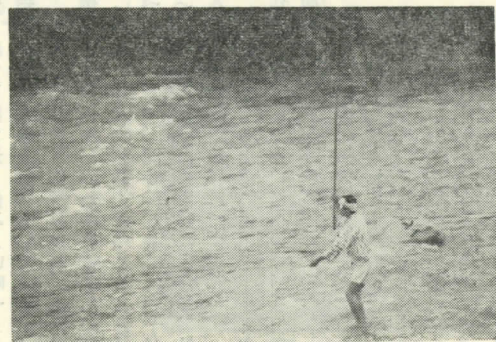
下流よりダムを眺む

- 大阪市港区 大森正照
- 名古屋市昭和区 池田澄子
- 久沢 尾崎政雄
- 上大納 長崎可よ子
- 大野市森山 山岸嘉明
- 名古屋市昭和区 森 鏡子
- 箱ヶ瀬 美濃島謙治
- 鹿島 本田フミ子
- 鹿島 水野龍一
- 中竜 多田隈茂子
- 中竜 原田時彦

季節の話題 鮎の解禁

例年に類を見ない、めずらしい日照り続きで、鮎の生育は、いよいよ順調と云うところである。七月九日は、釣天狗たちには待望の鮎の解禁日、此の日は折からの豪雨で定例の釣競争大会は、中止されたが、村内ならびに村外各方面より腕自慢が、どっと押し寄せ、久々ぶりのにぎわいで石徹白川は活況を呈した、組合では去る五月十八日を始

めとして延三回に渡り、朝日橋下、山原ダム上流、前坂方面に稚魚約十八万尾放流して濁水および水温、水量など心配されて居たが放流後は至って順調で現在体長約十釐、体重四十及至五〇グラムに成長して夏の味覚の王たらんして居ります。



あとかき

一、酷暑から残暑へときびしい暑さのため、体がだるく、食欲がなくなったりします。こんなときには、食中毒や、夏かぜをひいたりします。食前の手洗い、食品の取り扱いなどに十分気を配りましょう。

一、八月から九月にかけて必ず台風はやってくるものと覚悟しなければなりません。事前に点検しておきましょう。

一、長い夏休みで、子供の生活がみだれたり、悪いくせがつかないよう十分に指導してやりましょう。

一、長らく御愛読いただいた「村議の顔」に変わり、来月号より「こだま」を掲載する予定であります。